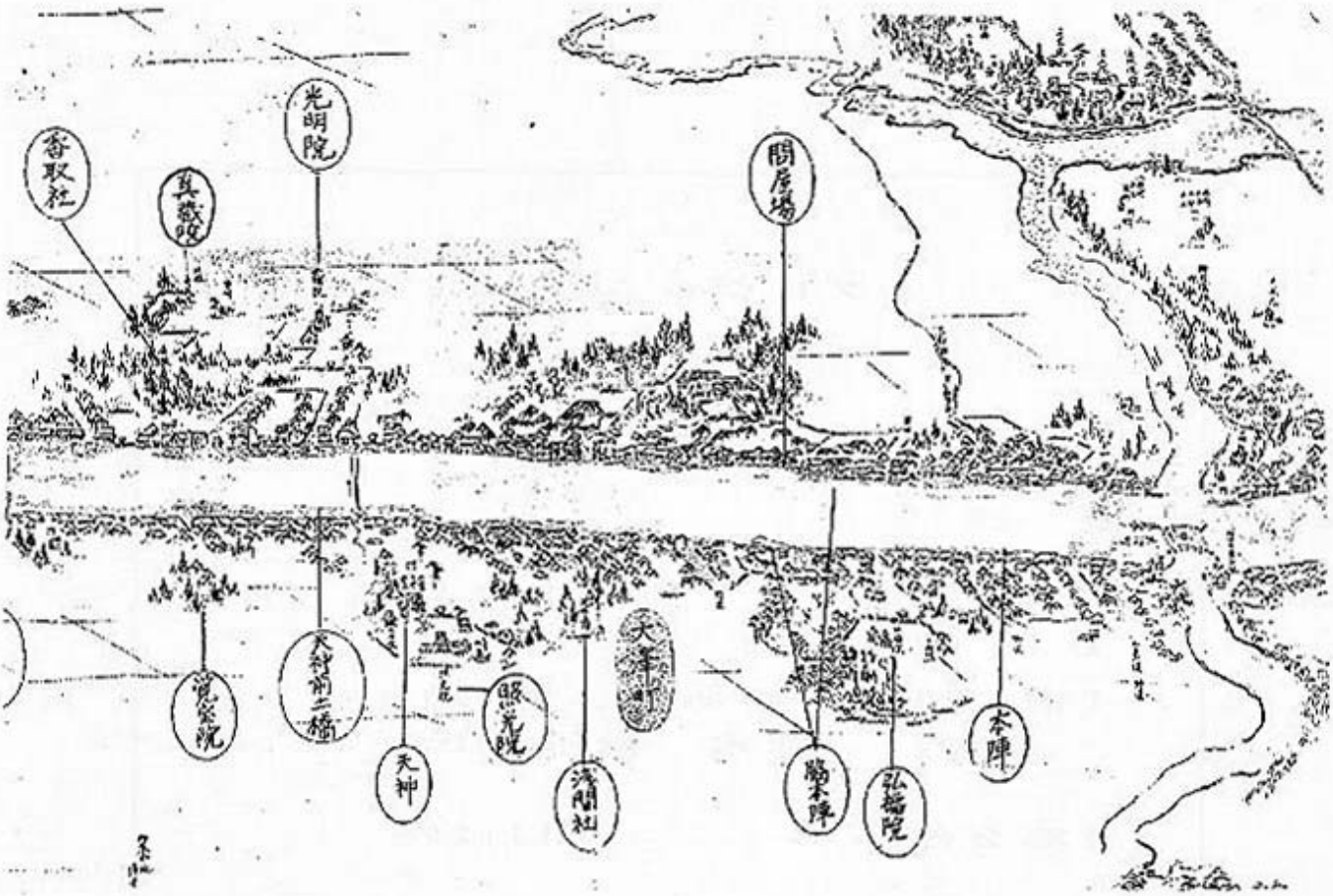
ふれあい合校「見て、聞いて、ふれて」

こしがやを知るセミナー「ｉｎ大沢」

宿場町大澤探訪



日　時	平成１５年３月１６日（日）午後１時～午後４時
会　場	大沢公民館　大会議室
主　催	こしがや地域ネットワーク１３（略称　ケネット１３） 大沢公民館

時代の流れとともに大きな変貌を遂げている越谷市各地域にはそれぞれの特性があります。

そこで「こしがやを知るセミナー」を通して各地域の伝統行事や歴史・地理的特徴を知ることにより地域を越えた連帯・交流を図り越谷市への関心と愛着を持つことを目的として開催します。

今回は、日光道中宿場町として街道沿を賑わし、発展してきた大澤町の歴史と文化の「あれ、これ」を探ります。

「宿場町大澤探訪」のテーマで大沢地区が講座を企画し開催します。

プログラム

開　会　　13：00～

挨　拶

【第１部】　　13：10～14：10

「宿場町大澤のあれ、これ」
講師　鈴木　徳治　氏

【第２部】　　14：20～

「宿場町大澤の史跡を訪ねる」
鈴木　徳治　氏

閉　会　　16：00

大沢町が　奥州道中沿いに町屋を形成したのは何時の時か　詳らかでないが大沢町の旧家福井家に伝わる古文書『猫の爪・瓜の蔓』等から考えられることは　江戸時代のごく初期の頃ではないかと推測される。

大沢町の鎮守　香取神社は　鷲後の香取神社を　現在の地（大沢三丁目）に移したもので　その年代は『猫の爪』によれば　寛永の頃ではないかと書かれている。（寛永２年が１６２５年）それまでは　鷲後や高畑に居住していた百姓達が　日光道中が整備されるにつれ　往還ばたへ　追々移り住むようになり町屋を形成していったものと考えられる。承応・明暦の頃（明暦元年が１６５５年）大沢町が　越谷宿へ加宿となった頃は　町屋に建ちつらなっていたらしい。

大沢の地名について

大沢という地名については　この辺りいったいが江河沢沼であった頃　其の内の　大いなる津という意味が　いつしか大沢と唱えられるようになったと考えられている。『猫の爪』には　開発の残池と考えられる『七つ池の事』というのが記されている。

七つ池というのは　内池・外池・浅間池・八郎兵衛池・観音坊池・嘉右衛門池・しじめ池の七つで　昭和の中頃までは現存していた。

内池と言うのは　通称学校の池と言われていた池で　１ヘクタール近い大きな池であった。（もともとは名主　江沢家の内池であった）

池の面には菱が一面に浮いていて　シーズンには　田船や盥船で菱の実を取った思い出を持つ古老も多いはずである。この池は　埋め立てられ現在は第二体育館になっている。浅間池・八郎兵衛池は　共にマンションに　観音坊池は公園になっている。

昭和３０年代後半からの　人口の急増と　バブル期の開発によって　大沢の地名の由来を物語っていたこれらの池が　すべて姿を消してしまったことは淋しいことである。

修験道の家

真蔵院（蔦原家）　元光院（江原家）　覚宝院（井上家）という修験の家がある。本家は真蔵院で大沢の草分けの一軒でもある。

このうち真蔵院と元光院は　道路やビル建設のため　本来の地を移転したが三家とも現存している。覚宝院は現在も　自分屋敷内に廟所がある。

宿場の規模

町内は　下宿　下組とも言う（現　大沢１丁目）　中宿　中組とも言う（現２丁目）　上宿　上組とも言う（現３丁目）に区画されていたが　行政的には１町で　名主は１名　江沢氏が世襲で名主を勤めた。

戸数・人口・旅籠数等　時代によって異なるが　（文政期）幕領で民家４８１戸　内伝馬屋敷７３戸　歩行屋敷５戸　他は地借　店借。

人口（享和２年）１，７３２人　内　男７９１人　女９４１人　女が男を１５０人上回っている。　このことは　幕府公認の飯盛旅籠が２２軒あり１軒につき　２名の飯盛り女を置くことを許されていたことと関係がある。

（天保１４年）　本陣　１　　脇本陣　４　となっている。

名主　江沢家は　明治初年　戸長を勤めたことを記した石碑が　香取神社にあるが　その後不明。　墓も無縁仏として整理されてしまった。（光明院）

宿場町の名残

昭和の初期（昭和１０年代）までは　宿場の名残を感じさせるものが　街道沿いに数多く残っていた。

本陣や脇本陣であった　瓦葺きの大きな建物が残っていた。又　街道に面して　共同の井戸が　数カ所残っていた。　これらの井戸は　旅人が喉を潤したり　馬に水を飲ませるために利用されたものと思われる。

飯盛り旅籠が整理されて　新開地と呼ばれる遊廓が　赤線廃止まで続けられていた。劇場があった　料理屋や飲み屋が数多く　芸者置屋も数件有り　検番もあった。

住民の気風も　他所者を差別しない　おおらかさがあったように感じられる。

戦時中　朝鮮半島出身の人が　埼玉県で２番目に多い町だったことも　宿場町の気風の故と考えられる。

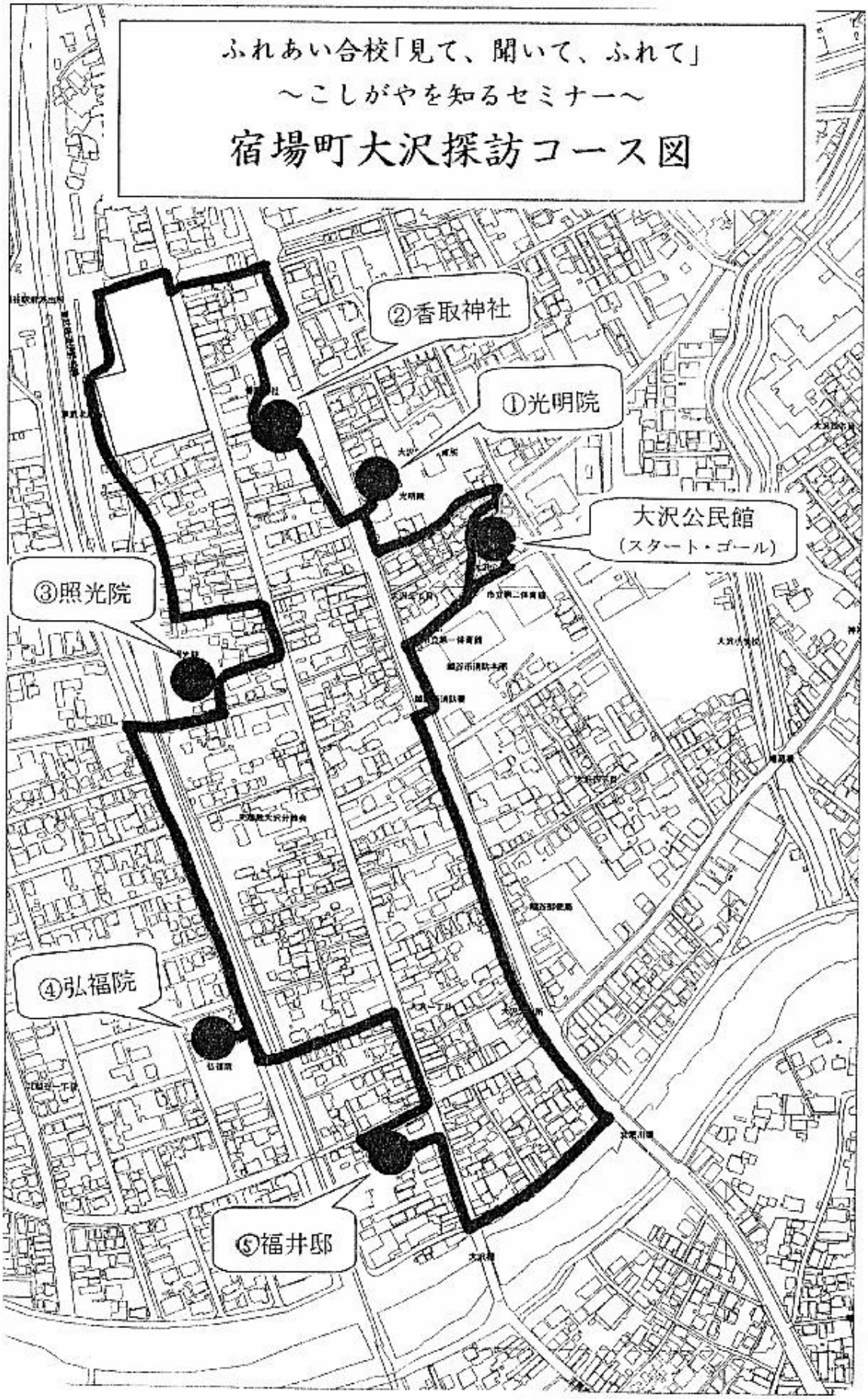
おわりに

『猫の爪』には　街道に面した町割り図が書かれている。『元禄八検地名所文化九所持之名を記す』と書かれた屋敷割図を見るとき　現在それとわかる家は　ほんの数える程しか残っていない。農村分では　開拓の初期から現在まで連なる家が数多くあるのに比べ　町場で何代も続くことの難しさを　如実に教えられた気がしました。

ふれあい合校「見て、聞いて、ふれて」

～こしがやを知るセミナー～

宿場町大沢探訪コース図



ふれあい合校「見て、聞いて、ふれて」
～こしがやを知るセミナー～

「ふれあい合校」をとおして越谷市の地域の特性と伝統や歴史、地理的特徴など知ることにより、連帯・交流を図り、越谷市への関心と愛着を持つことを目的とします。

宿場町大沢探訪

日光道中宿場町として街道沿を賑わし、発展してきた大沢町の歴史と文化の「あれ、これ」を探ってみませんか。
（越谷市指定有形文化財として、大沢香取神社の本殿の「彫刻」や、弘福院の「円空仏」など。元木陣の「福井邸」もご好意により見学させていただきます。）

▲日　　時：平成１５年３月１６日（日）
　　午後１時～午後４時
▲参加対象：子供から、大人まで
▲募集人数：６０名
▲会　　場：大沢公民館
▲コ ー ス：光明院→大沢香取神社
　　照光院→弘福院→福井邸（元木陣）
▲参 加 費：無料

◆第１部　「宿場町大沢のあれこれ」お話
　　鈴木徳治氏　・元小学校校長
　　・郷土史研究家
◆第２部　大沢のまちを探訪

大沢公民館は駅から約５分

主　催　こしがや地域ネットワーク１３
　　大沢公民館

申込み　２月１６日午前９時～９時１５分まで。直接大沢公民館にて受付
大沢公民館　TEL ９７６－５８００